

香港日本人学校小学部大埔校 阿比留 博

4663 Taipo Road, Taipo, N. T., HongKong
香港新界大埔大埔道4663号

hirotyann7979@yahoo.co.jp

tel 59670541

1 香港の概要・・・

- (1) 人口と面積
- (2) 人種
- (3) 言語
- (4) 気候
- (5) 歴史
- (6) 交通
- (7) 物価
- (8) 日本とのつながり
- (9) 生活の情報
- (10) 教育
- (11) 治安
- (12) ビザ(査証)と香港IDカード



1 香港の概要

(1) 人口と面積

2016年現在の香港の総人口は、約729万人で、その約95%が漢民族です。面積は、1103km²で東京の約半分です。

(2) 人種

約95%を占める中国人を除くと、香港における外国人居住者は、フィリピン人、アメリカ人、カナダ人、タイ人、イギリス人、インド人など様々で、在留邦人は約21,000人です。

(3) 言語

住人の生活用語は、広東語です。返還にともない中国語(北京語)も使われる割合が増えてきています。英語については通じる割合が高く、病院、銀行、公共施設、レストラン、デパートなど英語でのやりとりが必要になります。香港は多国籍都市です。電車に乗ると、車内放送は広東語、中国語、英語の3カ国語で放送されます。生活していく上で、基本的な英会話力は大切になります。

(4) 気候

香港は北回帰線の南に位置し、ハワイと同緯度にあります。香港島、九龍、広東省と隣接している新界、236の周辺諸島から成り立っています。香港島は平地がほとんどなく、坂道が多いのが特徴と言えます。亜熱帯気候に属して高温多湿で、年間を通して温暖ですが四季もあります。

【春】3~4月 気温は日本よりかなり高く、日差しも強いです。



【夏】5～10月 常に蒸し暑く、少し動くだけで汗をかきます。降水量も多く、湿度が90%を超える日も少なくないです。この頃は、タンスの中にある洋服にもカビが生えたりするので、除湿器は絶対に必要となります。（レンタルができるので準備しなくていいです。）

湿度が高いため、このような表示がよくされています。



【秋】11～12月 湿度が下がり比較的過ごしやすいです。朝晩は、冷え込みを感じる日もあります。

【冬】1～2月 10℃を下回るのは1週間程度ですが、香港にいと意外と寒く感じます。防寒用のコート・セーター類は購入できますが、持ってこられるものなら持ってきた方がよいでしょう。

※6～10月は台風シーズンで、大雨や台風の警報が出ることがあります。色のついた雲マーク（赤や黒）やシグナル（8以上）がテレビ画面等に表示されると、学校が休校になる場合があります。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月平均気温℃	16.4	18.6	20.1	21.3	25.6	28.1	27.9	28.4	27.5	25.5	21.6	16.1
月平均最高気温℃	19.8	22.3	23.3	23.9	28.4	30.7	31.0	31.0	30.4	28.8	24.6	19.5
月平均最低気温℃	14.0	16.3	17.7	19.3	23.6	26.1	25.7	26.2	25.4	23.3	19.3	13.4

2018年2月の初旬は最低気温7度まで下がりました。

（5）歴史

南京条約（1842年）により香港島が、次いで北京条約（1860年）により九龍半島の先端（約9.7平方キロメートル）が英国領土となる。1898年、英国は更に中国との租借条約により235の島を含む新界の99年にわたる租借を確保。1982年に、中英は香港返還問題の交渉を開始。1984年9月に交渉は妥結し、同年12月19日、中英双方の首相により、1997年7月1日をもって香港の全領域を中国に一括返還する旨の英中共同声明が署名され、1985年5月に発効。1990年4月、中国全国人民代表大会にて「香港特別行政区基本法」が可決、成立。1997年7月1日、中国に返還。

（6）交通

香港の交通手段は非常に便利で充実していて、タクシーを含め、安いのが特徴です。

① 地下鉄（MTR）

2～5分間隔で走っており、運賃はHK\$4～と日本と比べると安く便利です。オクトパスカードも使えます。駅構内、車内ともにエアコンがかなり効いています。MTR禁止事項としては、「切符を折り曲げない、車内や構内にゴミを捨てない、車内での飲食をしない」などがあり、違反した場合は最高HK\$5,000の罰金を取られます。切符は全て自動販売機で買います。運転時間は早朝6時頃から深夜1時頃までです。

② ミニバス（小巴）

マイクロバスによる交通機関です。停留所が決まっている緑ミニバスと、比較的自由に乗り降りできる赤ミニバスがあります。慣れればとても便利な交通手段で、その機動性とスリリングさか

ら、「ミニバスが一番香港らしい交通機関だ」という人もいます。運賃は路線によって違い、だいたいHK\$3~8です。緑ミニバスではオクトパスが使えます。赤ミニバスは現金のみです(お釣りはもらえます)。大埔校の職員は緑ミニバス(28K)をよく使い通勤しています。

③ バス(巴士、ダブルデッカー)

KMB(KOWLOON MOTOR BUS)、シティバス、ニューワールドファーストバスサービスなどがあります。面積当たりの路線数は世界一です。なお、アプリや香港という本に路線が詳しく載っています。オクトパスが使用できません。だいたいHK\$4~8です。現金で支払う場合はお釣りが出ません。

④ タクシー(的士)

日本に比べて料金が安く便利です。乗りはじめ2kmまでの初乗車料金は1分毎にHK\$1.6が加算されます。路肩に二重の黄色い線が引かれており、タクシーは止まることができないので、ホテルやタクシー乗り場が指定されています。英語で目的地を言うか、紙に目的地の住所を漢字で書いて示すと良いでしょう。英語が通じない場合が多いです。



⑤ 路面電車(トラム・ピークトラム)

香港島のみを東西に走る2階建ての路面電車です(九龍や大埔校のある新界にありません。)トラムは安く、時間がかかることとエアコンのないことさえ気にしなければ最高の交通機関といえるかもしれません。トラムの乗り方は、現在は後ろ乗り前降り、料金後払いで、全線一律HK\$2.3(2016年11月現在)でおつりはもらえません。尚、後述のオクトパスカードが使えます。

⑥ フェリー

フェリーは香港サイドと九龍サイド、他の島々、中国・マカオを結んでいます。利用の仕方によってはとても便利で、安価で、ちょっとした船旅気分が味わえます。オクトパスが使えます。

- ※ 香港では、11歳未満の子どもは大人の同伴なしでの外出は認められていません。外国であるという意識を持ち、スキをつくらない行動が大切です。
- ※ オクトパスカード(子供3歳~11歳 大人12歳~高齢者60歳~)

- ※ 日本で言う SUICA のような電子マネーカードです。
- ※ オクトパスカードは、香港の MTR・バス・フェリー・トラム等の交通機関で、共通に利用できるカードです。コンビニやスーパーでの買い物にも利用でき、とても便利です。運賃は、距離によって異なり、4～20 香港ドル程度で大抵のところに行くことができます。



- ※ 大人用の他、子供用・高齢者用があり、割引が適応されます。チャージは、駅の専用機やコンビニで補充でき、銀行口座からの自動入金もできます。カードは MTR 各駅のカスタマーセンター等で発売されています。また、中学生には手続きが必要ですが、MTR のみ半額となる学割オクトパスがあります。

(7) 物価

中国経済の成長に伴い、香港域内でも物価の上昇が続いています。全体的に物価は日本と比べ、高いです。特に日本製は高いです。

交通費や公共料金、日本製を除く食料品や衣料品、嗜好品のビールやワインは安いです。特に、25 度以下のアルコール類は税金がかからなくなったので安いです。(500ml 缶ビール 2 本で 200 円程度) それに比べて、たばこはとても高く感じます。(マルボロ 1 箱 800 円) しかし、それ以上に高く感じられるのは住居費です。家賃の高さはダントツで世界一位です。

(8) 日本とのつながり

香港には現在約 2 万人以上の日本人が住んでいます。香港での邦人在留者は、アジア全体の経済不安やそれに伴う香港からの日本企業の撤退などの影響で減少傾向にあります。しかし、日本からの旅行者は多く、毎年約 120 万人余の邦人が訪れています。邦人長期滞在者や旅行者が多いため日系デパート及びスーパーや割烹・レストランもあります。

なお香港は過去、日本の植民地になった時期があります。そのため反日感情も高かったようですが、昨今はビジネスや旅行を介して良好な関係になりつつあります。2012 年、尖閣諸島の問題で、日本でも報道されたような中国本土で起きたトラブルは香港では起こっていません。香港人は、基本的に日本に対してとても好意的に接してくれています。ただ、一部の活動家やそれらを支持する現地(中国本土も含めて)の人々がいることも事実です。事実、言動には注意が必要であり、価値観の相違をしっかりと認識し、誠意をもって接し、現地理解・国際理解につなげていくことが大切です。

(9) 生活の情報

香港に限らず外国で生活するためには正確な情報が必要です。

テレビ(業者によって違いますが、年間 HK\$2600 程度)で日本のニュースを知ることができます。

新聞は、読売、朝日、日本経済新聞の各紙は、国際衛星版を発行しており、日本国内と同じく、その日の新聞が出勤前に読める体制を整えています。(朝日新聞朝刊 1 カ月 HK\$520、読売新聞朝刊 1 カ月 HK\$520、日本経済新聞 1 カ月 HK\$780) 学校でも、朝日新聞、読売新聞を読むことができます。

日本の書籍を扱っている店も数カ所ありますし、女性ファッション誌の日本語版はコンビニにも売っています。その他、パソコンを利用すれば即日ニュースを手に入れることも可能です。その他に、「香港ポスト」(隔週 1 回金曜発行: 無料) や「香港コンシェルジュ」(月 1 回発行) という地元の日本人の作成している新聞や雑誌も好評です。香港内の政治経済ニュースやいろいろな情報が日本語で書かれています。



また、インターネット環境はフラットが決まってから申し込むことができます。フラット探しの時に、必ず確認しておきましょう。また、公共施設やほとんどのショッピングモール、いくつかの飲食店（スターバックスなど）では無線LANでパソコンを使用する若者をたくさん見かけます。

（10）教育

香港の現地の学校は9月に新学期が始まり、2学期制をとっています。学歴偏重の風潮は日本と同様に強く、香港の中学生も補習学校などで夜遅くまで勉強しています。香港の小学校Primary Schoolは6年制で香港政府の学校（公立）Government Schoolと香港政府が援助する学校Aided Schoolがあります。現在はほとんどの小学校が全日制です。授業は広東語で行われますが、北京語、英語も取り入れられています。



2009年、香港政府は大幅に学制を変えました。（2013年までは旧学制も混在）中学高校はSecondary Schoolと呼ばれ、多くの子どもは6年間同じ学校に通っています。Secondary SchoolはJunior3年間とSenior3年間に分かれています。また、学校によっては中学Juniorだけの学校もあります。授業内容と講義等に使われている言葉によって、英文中学、中文中学、工業学校、職業専門学校の4種類に分けられます。香港特区政府は97年末に母語（主に広東語）教育政策を実施（中文の科目はすべての学校で必修）しました。したがって、大部分の授業を英語で行う英文中学は認可制になり、98年9月から、英文中学として認められた100校にのみ英語での教育が許可されました。しかし、統一（Standard）テストで英語の成績が悪いと英語での授業を取り消されてしまうこともあります。多くの親は、将来の就職に有利になることを考えて、わが子を英文中学で学ばせたいと考えています。また、その他の言語（英・独・仏・日本・韓国語等）を使用するインターナショナルスクールもあります。また、高校卒業後はHong Kong Diploma of Secondary Education（香港高級程度会考）のテストがあり、これによって希望する大学に入れるかどうかが決まります。工業高校は5年制で、工業技術と商業科目を中心に学び、理工学院などに入学することができます。職業専門学校は3年制で職業技術者の養成を目的としています。

香港で生活している日本人の児童生徒の多くは、日本人学校の小・中学部に通っていますが、英語系のインターナショナル校に通う児童生徒も少なくありません。また、学齢期前の幼児には現地の幼稚園や日本語で指導する幼稚園があります。

（11）治安

人口あたりの犯罪発生件数は東京とほぼ同じです。もしくはそれ以下です。香港在住の日本人や教職員も香港は治安のいいとても住みやすい街だと言っています。また小さい子やお年寄りに対して席を譲ったり、手を貸したりなど親切に接する人が多いです。しかしながら、国際都市香港なので、様々な方がおり、日本人をねらった犯罪も少なくありません。観光客の集まるフェリー乗り場ではスリの被害が報告されています。

尖沙咀（チムサーチョイ）の彌敦道（ネイサンロード）周辺では直観的に日本人を見分け、ニセモノ時計、ニセモノバッグを売りつけようとする人が多くみられます。それほど、日本人はお金を持っていてブランド志向であると思われるようです。国内でも同じですが、安全は自ら気をひきしめて得られるものと考えることが大切です。まず、多額の現金は持ち歩かない方がよいでしょう。特に女性はバックなどを肩にかけるだけでなく手でしっかり持つと良いと思います。いつも安全に配慮して行動した方が賢明です。

香港では1980年（昭和55年）から12歳以上の居留民に香港政府発行のIDカード（身分証明書）の携帯が義務づけられています。香港市民は全員、身分を証明するIDカードを所有しています。しかも常に身につけていなければなりません。もし忘れてしまうと、HK\$1000の罰金が課せられます。IDカードは、言わば1人1人の背番号です。単に身分を証明するだけでなく、その人

のデータが政府のコンピュータに入力・管理され、犯罪防止などにも役立てられています。私たち日本人も、11歳以上の子どもを含め大人全員がIDカードを所持しながら生活しています。赴任後IDカードができるまではパスポートのコピーをいつも携帯することになります。

比較的安全だと思える香港ですが、常に「外国である」という意識と緊張感を持つことが大切でしょう。もしも何かトラブルに巻き込まれたら、香港警察日本語ホットライン（24時間年中無休、2529-0000）に連絡をすれば、香港警察が日本語で対応してくれます。

（12）ビザ（査証）と香港IDカード

①就労（居留）ビザ（EMPLOYMENT VISA）

香港のビザの種類は、就労ビザや研修ビザのように、香港において報酬を得て仕事をすることが可能なビザと、訪問ビザや学生ビザのように、就業が許可されていないビザの2種類に分かれます。日本人が香港を訪問する場合、通常は自動的に90日間の訪問ビザが発行されます。旅行者や留学生以外の外国人は、基本的に就業可能なビザを申請することになります。しかし、政府は香港住民の雇用確保と経済環境の保全を図る目的から、就業可能なビザの発行には明確な審査基準（一般就業政策）を設けています。香港へ赴任、駐在、就業、現地採用された外国人が取得すべきビザです。

香港特別行政区政府は、香港住民の就業確保を優先しているため、就労ビザの取得には、一般就業政策という明確な審査基準があります。一般就業政策の主な就労ビザの発給条件は、申請者が香港にとって有益な人物であり、香港にはない業務上の知識、技術、経験を有する者に限定されています。基本的に専門職と管理職以外の日本人が、香港で就労ビザを入手するのは難しいといえます。審査は申請者本人の業務経験や知識、職位にはじまり、就業先の業績の推移や香港人スタッフの雇用の有無なども含まれます。教員としても、香港での教員免許申請が必要となります。初年は1年間、その後2年、2年、3年と延長することが可能です。また、家族には、扶養家族ビザ（DEPENDANT VISA）があります。駐在員や研修ビザ保持者の家族。18歳未満の未婚の子どもが持つビザで、家族がビザスポンサーとの関係を示す必要があります。期間は駐在員と同じ年数になります。



②マルチビザ

中国国内と香港間を何度も往復するのに必要な、「マルチビザ（数次査証）」を発給してもらっています。ただし、マルチビザの有効期間が半年しかないため、半年毎の申請（最初の申請は6月下旬）になります。個人写真（パスポートと同じ大きさ、家族全員分）が必要ですので、事前にたくさん準備しておくことをお勧めします。

③香港IDカード（身分証明書）

香港では、180日以上滞在認可を取得した満11歳以上の者は、IDカード（Hong Kong Identity Card）の携帯が義務付けられています。IDカードは、香港への出入国時の自動通関システムをはじめ、銀行口座の開設、公共機関の利用、病院での治療、不動産の賃貸契約などにも必要です。また、街中で警察官に提示を求められることもあります。

IDカードの申請は、ビザの取得後30日以内に、入境事務処に必ず申請者本人が出向いて行います。ビザの残存期間が6ヵ月を切ると申請できなくなるので注意が必要です。シャムスイポーにある入境事務処に申請に行きました。発給には2週間ほどかかります。



(1) 小学部大埔校

- ① 所在地 香港新界 大埔大埔道4663號
4663 TAIPO ROAD, TAIPO, N.T., H.K.

<学校屋上からの景色>

ホームページ：<http://www.jis.edu.hk/>
教職員数(事務局も含む) 約40人



学校周辺の様子

大埔校はMTR (旧KCR) の大学駅が大埔墟駅からいずれも車で10分位の所にあります。開校当初は、周囲には新しいフラットがあるだけで、緑一面の丘陵地でした。

前方には吐露湾の穏やかな水面が、どこまでも広がっています。学校の前には二階建てのバスやミニバス等の停留所もあり、タクシーもよく通ります。

学校の周辺は香港でも有名な「香港中文大学」と、1994年9月より開校の香港教育学院のグラウンド等が建つ文教地区であり、2002年9月開校の公立小学校と公立中学校が、隣接しています。研究学園都市として、政庁が最も力を入れて開発しようとしているところの一つです。また、学校のすぐ下には吐露湾公路という高速道路が通っており、大型トラックや大型バス、乗用車が走っています。香港と中国の深圳をつなぐパイプラインとなっています。

- ②面積 ・9200㎡

- ③校舎
- ・構造：鉄筋コンクリート5階建て（一部4階）
 - 施設：普通教室40（日本語学級30、国際学級10）
 - 特別教室（理科室2 家庭科室 音楽室2
 - 図工室2 コンピュータ室 多目的室
 - 和室 語学室5 適応教室 保健室）
 - その他（室内温水プール25m×10m及び小プール
 - 更衣室 校庭2000㎡（人工芝）
 - カバードエリア 屋上広場3
 - パーキング 吹き抜け図書館）

- ④ 児童数 [日本人学校] 約450名

⑤ 週5日制

8:15 ~ 8:20 朝の会 8時20分より授業開始。

- ・1ポイントは15分。45分授業を基本とするが、児童の実態に応じて60分、90分等、弾力的に運用する。（1年生は週に75ポイント。2年生は週に78ポイント。3～6年生は週に86ポイント）
- ・下校時刻（バス発車時刻）は、月・火・水・金曜は15:25で一斉下校とする。木曜は二部制下校で、1・2年生は13:00、3～6年生は15:25とする。
- ・日々の清掃はなく、週の最後の時間にやることが多いです。
- ・毎日、English staffによる英語の学習が3ポイントあります。3年生以上は図工（イメージ教育）もEnglish staffが行っています。
- ・室内温水プールを使っての水泳の学習も年間を通して週3ポイントあります。水泳の学習も水泳指導のスタッフのもとに英語で行われます。

- ⑥クラブ ・クラブは児童の希望により可能なものがつくられます。

- ・H28年度は、和太鼓、フットサル、野球、音楽、不思議発見、バスケット、手芸、料理、卓球、ネット型ゲームの10クラブ

⑦委員会 運動、保健、生活、図書、放送、児童、大埔だ班

⑧学校行事 【1学期】 入学式、授業参観、大縄大会、宿泊学習、社会科見学など
 【2学期】 運動会、交流会、修学旅行など
 【3学期】 ランタナ祭（学習発表会）、授業参観、卒業式など
 English staffによるEnglish tripやEnglish Lunchなどの行事もあります。
 運動会は、例年競技場を借りて行っています。



⑨交通手段

- ・教職員はミニバス、バスで通勤しています。
- ・児童はスクールバスが大半ですが、一部自家用車等で通学する児童もいます。

⑩その他

- ・大埔だ班活動（異学年縦割り活動）を年間通して行っています。
- ・上靴は無く教室内も外と同じ靴です、但し、体育館シューズは必要です。児童は体育館で活動するときに履き替えます。
- ・給食はありません。児童ともに弁当持参が多いですが、出前の弁当を注文することもできます。日替わり弁当は約HK\$55です。
- ・放課後習い事活動（S I S）を校内で行っています。